第二百號

NAMBEI SHIMPO

1 de SETEMBRO de 1938

週刊南米

サンパウロ市ピンセイロ
モッタ三八一番地
發行所 南米新報社

購讀料 年一二三
廣告料 段一〇六

清酒 東麒麟 東鳳

【南米週間案内】
●法律上の御相談は？
座喜味法律事務所へ
聖市カルモ街一八
三階四〇一四一號
電話二一四三五八

露滿國境を越えて 國外に逃亡したる リユシコフの手記を讀みて

良く泳ぐ者は遂には溺れる彼も其一人か

常軌逸脱の誇大妄想狂

蘇國極東政治部總指揮官であり極東警視總監である極東地方内務人民委員部長三等國家保安員リユシコフ大將が去月十三日偶突如として滿蘇國境を突破して自國を脱走して來たとは、獨り我國のみならず、全世界に異常のセンセーションを捲き起したやうである、わけても蘇國の驚愕は想像に餘りある、蘇國は取敢ず急遽『脱走者はリユシコフではない』と事實の抹殺に取りかつた模樣であるが、斯くの如き兒戯に等しい宣傳は或は國内的には多少の効果はあるかも知れないが、對外的にはたゞ其の狼狽振りを示すのみであつて、何等抹殺的効力のあるものではない。

リユシコフが絶大な權勢を擁する地位になりながら何故ドブ鼠の如き憐な姿をして孤鼠々々と單身越境し來たかといふことは發表された彼の手記によつて想像することが出來る、つまり二、三ケ月前から内務人民委員長エジョーフの開始した全蘇國の内務人民委員部並にゲ・ペ・ウ關係高官の檢擧交迭の大嵐に吹き捲られて彼は枯葉一枚滿洲國内に飛び込んで來たといふだけのことである。

△

リユシコフは昨夏前任者デリバス大將がトハチエフスキイ事件に關連して罷免逮捕された後を襲ふて極東へ赴任し、スターリンの大なる信望を擔ひ、ブリユーヘルに對する目附役を兼ねたものであるが、まだ一年と經過しない今日速くもスターリンの寵を失ひ、モスクワへ召還命令を受け、逮捕統殺を暗示させられたといふことは、混沌たる蘇國に於ける人身の有爲轉變の程を察せしめるものである

△

然しながらリユシコフの彼も亦一種の日和見主義者であり、順應主義者であり、偉大なる現實主義者であつたやうである。

手記によると、彼は既に一九三四年十二月に起つたニコラーエフのキーロフ暗殺事件以來『これまで私自身闘爭の題目としてゐたレーニン主義が、既に黨の政策の根本的樞軸たる事實を失つて來たといふことを確信するに至つた』と言ひ『今日まで私が國民の前に犯した罪は頗る大きい、それは私が數萬の國民を虐殺するに至つたスターリンの欺瞞政策、恐怖政治の積極的協力者であつたからである』と告白してゐる、果してさうだとするとこの三年半の間彼は實際スターリンに心服せず、内心スターリンに反對しつゝ、スターリンの恐怖政治に積極的に協力してゐた理由を其の手記中に明記してゐないが、彼が此の間の罪の大なることを認めてゐる點から察して吾人は此の三年半の間彼が現實主義の立場からたゞ命ぜられるまゝにスターリン政治に順應してゐたものと思はなければならない。

△

吾人の恐るゝ者は、此の順應主義者、日和見主義者である、自己の身上に危險が迫つて初めて其の態度を明かにするといふ事は、極めて卑法な態度であり、其の反對者の命によつて其の同志多數を虐殺したといふことは『一體何と評すべきであらうか。

△

彼は今若しまだ一身に危險を感じなかつたら、まだその順應主義を繼續し、まだ〳〵其の同志を虐殺したに相違ない、而も彼が若し眞に反スターリン的であるならば、國内に於てスターリンの手傳ひをせず、其地位を利用し、もつと速く國外へ脱走し、スターリンの欺瞞政策を世界に曝露すべきではなかつたか、今日彼は是認した脱走と曝露とを彼は何故更に一年前、又は二年前、或は三年前に是認することが出來なかつたか？若しさうとすれば、それだけ彼の國民に對する罪は少なく、世界に對する利益は大きかつたのである、若し彼が眞に蘇國民を愛し、世界の平和を愛するならばスターリンの欺瞞を覺つた其の時から外國の懷中へ飛び込むべきであつた、國内に於げる日和見的、順應主義的妨害行爲は、寧ろ犠牲を多からしむるもので、何等益するものではない、スターリンの裁判のから繰りまでも明瞭に觀破した彼が何故もつと速く思ひを此處に致さなつたかといふ事は彼の手記に發表された大なる疑問である。

△

リユシコフはキーロフを暗殺したニコラーエフに就いて『彼は常軌を逸した誇大妄想狂で、單に歴史的人物に數へられんがために遂に身を滅したものである』と評してゐるが、吾人に言はしむれば寧ろリユシコフこそはあはよくばスターリンを踏み臺にして歴史的人物に數へられんと策した誇大妄想狂ではあるまいか。

良く泳ぐ者は遂には溺れる彼は其の巧妙な遊泳術によつて自ら溺れたのではあるまいか。

△

何れにしても彼の曝露、告白は珍しくも何ともない彼の曝露告白したやうな事情は、我國に於ても既に十二分に知られてゐる所でたゞ此の既知の事實に對する立證、または裏書としてのみその價値を認められるのである。

殊に彼が防共滿洲國に飛び込んで來て、私は眞のレーニン主義者である、トロツキ、ジノーヴイエフ一派である、即ち國際共産主義者である、此『私が政治的亡命者として寛人に取り扱ひ、私に隠れ家を與へて呉れる國家に對して深甚なる信頼を寄せようとするものである』と言つてゐるあたり誠に虫の良い話で、外國の事情、殊に防共戰線事情を知らない認識不足の甚だしいものであるといはなければならない、日本はレーニン主義者であらうが、スターリン主義者であらうが、トローツキイ主義者であらうが、ジノーヴイエフ主義者であらうが、それが若しマルクス主義——共産主義の流れを汲む者である以上それを我々の友と認める譯にいかないことは勿論外國の政治亡命者として國内に放し飼ひにして置くわけにもいかない、彼も暫らく滿洲國の監獄内にあつて、過去に於て自ら狂ひ來つたことを反省し、世界と人類との眞の幸福に關し靜かに考へ直して見るが良からう。日本が彼を政治的亡命者として寛大に取り扱ふか何うかはその上の問題である。

△

然しながら今や日支事變一周年を經るに當つてリユシコフの手記がスターリンの對支援助の眞意に言及してゐることは痛快である、『支那は現在では單にスターリンの冒險政策の道具に使はれてゐるに過ぎない』と斷言し『スターリンの眞意は使ふだけ使つて、弱り切つた支那を徐ろに赤化の對象物たらしめんとするにある』と警告してゐる、全くその通りで、之を知らずに、スターリンに瞞されて、長期抗日を宣言して四億の支那民衆を流血と餓死のどん底に叩き込んで、而もまだ長期抗戰を豪語してゐる蔣介石の墨鉢痴呆たる實に度すべからざるものであると言はなければならない

更に又スターリンの斯くの如き欺瞞政策の尻馬に乘つて蔣介石の抗日戰の舞台上に踊らされ、蔣政權に有形無形の援助を繼續してゐる英佛の愚も亦決して蔣介石に劣らないものがある、將に沒落せんとする蔣介石を相手に假に如何なる利權をせしめても蔣の沒落後スターリンの赤化勢力が支那の一部分に及んだならば、英佛の獲得した利權は、如何なる運命に陥るであらうか、その邊は英佛にもよく分つてゐなければならぬ筈である、恐るべきものを恐れず、恐れる必要のないものを恐れる結果が如何に恐るべきものであるか、吾人は英佛の一大猛省を要望してやまない。

△

ソ聯を初め英佛諸國に救援方を泣きつき巡つた孫科は廿四日香港から漢口に入り將介石に複命する所があつたが、現政權はソ聯と提携するに非ざれば到底時局を有利に拾收すべからずとてソ聯共産黨との提携を大に力説したが、茲に國民黨の歐米依存派との對立を見孫科の漢口入りをめぐつて俄然動搖、形勢は重大化したと傳へられ、右につき將介石は本月中旬重慶に於て五中全會（第五回中華民國總會）を召集した上、今後の方針を決定すると云ふが是れこそ斷末魔の亂舞に似て愈々脚元が見え透く。

△

目下漢口は極度の物資欠乏の土水道からは給水を斷たれ、夜は電燈も無く而も殘暑は例年に無き酷烈星内でも九十度以上に昇り、その上間斷無く皇軍から空襲を受け爆彈を見舞はれてゐると云ふこの世の生地獄だが自業自得だから仕方がない、モウ一息のがまんだ皇軍から攻略されるまで我慢しろ。

△

此の生地獄が皇軍から救はれる日も、いよ〳〵目前に迫つたので豫て内閣情報部に於て計畫詮衡中の、漢口派遣文壇の花形顔振れが廿七日決定發表され總員廿二名、近く東京を出發すると云ふが、その内評論家の杉山平助と林、吉屋の二女流作家が特に異彩を放つてゐる。

△

廿六日を以て第三回目の論功行賞が行はれ賞勳局と陸軍省から發表されたが有り難いお沙汰に浴する者みんなで千二百六十七名、何れも宏大な皇恩に感泣してゐる事であらうが我々國民の感謝は更に新なるものがある。

△

去月下旬賞出された愛國公債十圓券は豫定高を忽ち突破、追加申込各地から殺倒し殊に東京ではスバラシイ景氣で遂に五千万圓に達し且つ七千四百万圓は裕に消化されると、銃後國民の赤誠にはたゞ感銘の外はないが同時に日本の經濟力が意外な底力を持つてゐる事に我々は嬉し涙と共に驚歎するのみである。

△

武漢を守る支那の軍勢七百十万と稱せられるが皇軍の向ふ處物の數でない、城頭高く日章旗の飜るは最早時間の問題とされてゐるが一方敵軍は毒ガスを使用して我軍を苦しめやうと準備中だと云ふのは從來の常套手段として彼が毒ガスを使用する前には、必ず歐米にデマ放送を行ひ日本側が毒ガスを使用した如く云ひ、然る上自らこれを使用する口實迄文壇の花形顔振れが手段でデマ放送を始めてゐることは自ら之を使用する前振れと見られる、どこまでも卑怯千萬なチャンコロではある。

△

衆議院ではチョーコ峰初め露滿國境視察のため小山議長以下二十六名の一團が二十七日東京を出發、歸途は滿洲國にまはり新京を訪ふとのことだが、國境は今後とも益々深化するものと見られるから是非視察して置く必要があるのだらう。

△

將介石のソ聯と英佛依存の謂ゆる二元外交が孫科の歸漢でいよ〳〵露骨になるらしい、國府内にソ聯連絡委員制を設ける他に孫を代理としてバリーに駐在せしめ專ら佛英方面からの援助を受ける運動に富らせると傳へられるが、今更ヂタバタして唯だ自己の利害のみで動く英佛の骨無しにすがつたとて何が出來る？漢口が落ちたら最後金の切れ目が縁の切れ目、武漢の切れ目が縁の切れ目となるは火を睹るよりも明かである、のに、さても目先の判らないバカ大將ではある。

△

廣東の落城逐からすと見た英國經營の廣東香港間の定期旅客航空は廿八日限り中止したところを見ると、同航空路に於ける皇軍の活躍振りが如何に猛烈であるかゞ想像される、さすがの英國も飛んで火に入る夏の虫の愚を悟つたか。

△

支那軍から分捕つた兵器を調べて見ると何れも最近のものばかりで英國製の優秀な奴だとある、英國が躍氣となりドンナニ立派な武器を與へたところで結局子供にプリンケードだ、でもドの詰りは我軍が貰ふのだから成るたけ良い物をドンドン與へてやるがいゝ。

△

我軍の漢口總攻撃で毎日爆彈の雨を喰らひ、『是處勞働者を動員して獨佛國境の强化作業に從事せしめることゝなりチエツコスロバキア問題の深刻化に伴なひ殊に佛英露の三國からは露骨な挑戰的態度と見なされ激しく非難されてゐる。

△

欧洲のダイナマイト獨逸では益々軍備の充實に邁進しつゝあるが今月から十一月にかけて百四十萬の豫備兵を召集し檢閲を行ふ外、五十萬の勞働者を動員して獨佛國境の强化作業に從事せしめることゝなりチエツコスロバキア問題の深刻化に伴なひ殊に佛英露の三國からは露骨な挑戰的態度と見なされ激しく非難されてゐる。

△

出征皇軍の勞苦を思ふ大日本青年團では三府四十三縣より一名づゝの代表を送り總勢五十九名が廿九日博多箱崎八幡宮に詣で武運長久を祈願したる後、北支と南支の二隊に分れ出征將士の慰問に向つたと報ぜられるが、廿萬からの同胞が事變一周年を過ぎた今日漸くタツター人の慰問使、それも離婁の序でアプロベイタとは何んだか母國民のそうした赤誠に對して相濟まぬやうな氣がする。

△

三ケ月の遠洋練習航海から帰日無事横濱に入港した商船學校の日本丸はハワイ寄港の折、同地第二世邦人より托送陸軍省宛献納のアルミニユーム其他鉄屑六千キロを届けて來た、ハワイ第二世の母國銃後の赤誠は全國民を感動せしめたと。

△

ソ聯の第三國際は露國の新聞紙上に『日本の軍部は支那の民衆を流血と餓死のどん底に叩き込んで、而もまだ長期抗戰を豪語してゐる蔣介石の墨鉢痴呆たるや實に度すべからざるものである』と言ひ『今日まで私が國民の前に犯した罪は頗る大きい、それは私が數萬の國民を虐殺するに至つたスターリンの欺瞞政策、恐怖政治の積極的協力者であつたからである』と告白してゐる、果してさうだとするとこの三年半の間彼は實際スターリンに心服せず、内心スターリンに反對しつゝ、スターリンの恐怖政治に積極的に協力してゐた理由を其の手記中に明記してゐないが、彼が此の間の罪の大なることを認めてゐる點から察して吾人は此の三年半の間彼が現實主義の立場からたゞ命ぜられるまゝにスターリン政治に順應してゐたものと思はなければならない。

△

吾人の恐るゝ者は、此の順應主義者、日和見主義者である、自己の身上に危險が迫つて初めて其の態度を明かにするといふ事は、極めて卑法な態度であり、其の反對者の命によつて其の同志多數を虐殺したといふことは『一體何と評すべきであらうか。

△

彼は今若しまだ一身に危險を感じなかつたら、まだその順應主義を繼續し、まだ〳〵其の同志を虐殺したに相違ない、而も彼が若し眞に反スターリン的であるならば、國内に於てスターリンの手傳ひをせず、其地位を利用し、もつと速く國外へ脱走し、スターリンの欺瞞政策を世界に曝露すべきではなかつたか、今日彼は是認した脱走と曝露とを彼は何故更に一年前、又は二年前、或は三年前に是認することが出來なかつたか？若しさうとすれば、それだけ彼の國民に對する罪は少なく、世界に對する利益は大きかつたのである、若し彼が眞に蘇國民を愛し、世界の平和を愛するならばスターリンの欺瞞を覺つた其の時から外國の懷中へ飛び込むべきであつた、國内に於げる日和見的、順應主義的妨害行爲は、寧ろ犠牲を多からしむるもので、何等益するものではない、スターリンの裁判のから繰りまでも明瞭に觀破した彼が何故もつと速く思ひを此處に致さなつたかといふ事は彼の手記に發表された大なる疑問である。

△

リユシコフはキーロフを暗殺したニコラーエフに就いて『彼は常軌を逸した誇大妄想狂で、單に歴史的人物に數へられんがために遂に身を滅したものである』と評してゐるが、吾人に言はしむれば寧ろリユシコフこそはあはよくばスターリンを踏み臺にして歴史的人物に數へられんと策した誇大妄想狂ではあるまいか。

良く泳ぐ者は遂には溺れる彼は其の巧妙な遊泳術によつて自ら溺れたのではあるまいか。

△

何れにしても彼の曝露、告白は珍しくも何ともない彼の曝露告白したやうな事情は、我國に於ても既に十二分に知られてゐる所でたゞ此の既知の事實に對する立證、または裏書としてのみその價値を認められるのである。

殊に彼が防共滿洲國に飛び込んで來て、私は眞のレーニン主義者である、トロツキ、ジノーヴイエフ一派である、即ち國際共産主義者である、此『私が政治的亡命者として寛人に取り扱ひ、私に隠れ家を與へて呉れる國家に對して深甚なる信頼を寄せようとするものである』と言つてゐるあたり誠に虫の良い話で、外國の事情、殊に防共戰線事情を知らない認識不足の甚だしいものであるといはなければならない、日本はレーニン主義者であらうが、スターリン主義者であらうが、トローツキイ主義者であらうが、ジノーヴイエフ主義者であらうが、それが若しマルクス主義——共産主義の流れを汲む者である以上それを我々の友と認める譯にいかないことは勿論外國の政治亡命者として國内に放し飼ひにして置くわけにもいかない、彼も暫らく滿洲國の監獄内にあつて、過去に於て自ら狂ひ來つたことを反省し、世界と人類との眞の幸福に關し靜かに考へ直して見るが良からう。日本が彼を政治的亡命者として寛大に取り扱ふか何うかはその上の問題である。

△

然しながら今や日支事變一周年を經るに當つてリユシコフの手記がスターリンの對支援助の眞意に言及してゐることは痛快である、『支那は現在では單にスターリンの冒險政策の道具に使はれてゐるに過ぎない』と斷言し『スターリンの眞意は使ふだけ使つて、弱り切つた支那を徐ろに赤化の對象物たらしめんとするにある』と警告してゐる、全くその通りで、之を知らずに、スターリンに瞞されて、長期抗日を宣言して四億の支那民衆を流血と餓死のどん底に叩き込んで、而もまだ長期抗戰を豪語してゐる蔣介石の墨鉢痴呆たるや實

今週話題

舊説を覆へす上層氣界の高き温度

○……○

地球を包んで居る大氣は上方に上るに連れ温度の漸減を來し、何十哩かの高さに達した所では、彼の絶對温度と呼ばれる零下二七〇度位の寒氣が襲つて來て居るであらうとされ、それが地球の老躰と共に、次第に地表近くに押し寄せて來ると云ふ樣な想像は、往々にして科學小說に凄慘な材料を供給して居るが、最近、フランスのバリー近郊で行はれた上層の氣流並に温度の觀測は、是に携はつた學者達をして、はからずも從來の想像を全く裏切る樣な意外の結果に到達せしめた

○……○

巴里の地球物理學研究所長シャルル・モーラン教授の研究は地上三〇哩位の所から氣温は一定になると云ふ結果に達したが、英國の氣象學者ホイツプルは二〇哩位の所から温度が次第に上昇して三〇哩に至ると華氏二二〇度（攝氏概略一〇〇度即ち水の沸騰點）になるであらうと云ふ結果を得て居る。

空氣の上層が世間で考へられて居るよりも温暖であらうと云ふ說はすツクスフオード大學のリンデマン教授に依つて夙に唱へられて居つた所であるが、今回の實驗では此說の裏書きをするものも生れた事になる。

○……○

洋人無關節論 狸が寢て育つ話、等

西洋人が始めて日本に渡來した當時、彼等には脚の關節がないのだと信じて居るものが澤山あつたそこで實否を驗すために薩摩潟か

南米珍聞

火を吐く魚

深海魚には發光器を持つて居るものが於ける墨同樣の効果を奏するのも面白いではないか、

○……○

珍しくない、是は通常餌を釣るため使はれたり、消極的な外敵防備の意味に使はれたりするものと考へられて居るが、中には烏賊が墨を吐く樣にして、或る發光物質を吐き出して敵の攻撃からまぬがれるものも少くない、光線の届いて居る淺海では墨のスクリーンを流して眼を眩ます事が出來るが、光線が殆んど無いに近いまでに乏しくなつた深海では墨等を流して見ても更に効果のない道理であり、反つて明るいものが明所に於ける墨同樣の効果を奏するのも面白いではないか、

○……○

例へば强燈提灯と云ふものがあり、是を翳すと敵のみ照らして已の姿は見えなくなる、人間がその光學上の現象を會得するまでには何百萬年かを要したのであるが自然は疾くの昔に是を應用して人の氣もつかない世界にも動物を榮えしめて居つたのである。

末世の哀れ

○

まあ何んでも宜うしいお金を儲けてシコタマ蓄め込み老後の備へをすることです、思ひ切つて日本を飛び出しこんな處まで稼ぎに來た身です、義理も人情も有つたものか、そんな事にこだはつて居た日にや金持にはなれませんよ。

○

お前さんのやうにロクに金儲けの法も知らず堅い事を言つて議論ばかりしたつて誰れも共鳴しやしませんみんなに共鳴させやうと思ふなら先づお前さん自身がお金持ちになる事です、その証據に色々の團體の中心人物と云ふものを御覽なさい、貧乏人の會長さんがありますかいな？若し有つたら奇蹟です。

○

お金を持つて居ると云ふことは必ずしも自分の額に汗をあせを流さなくても宜しい、他人から預つたお金でもその預け主が個人であらうが、公共であらうが、そんなことを詮索する必要はありません。

例へば政府の補助金でも構ひません、兎に角自分が持つて居さへすれば、それで可いのです、そうしたら、みんながチヤホヤされエライ人にされます、それがたとへ裏から見て二た目とは視られないやうな醜い卑しむべき人間であらうが……です、テモ有難い極樂に來たものですなア、と感歎される移植民地こそ、さても末世の哀れを留むるところか。

○

斯くして、吾れ世に勝てば驕然と門前人の市を作り吾世に敗るれば鬼氣空し、惡盛んにして天を怒らしむるの徒、白日の下に大きな面してのさばれども、一人是れを咎むるの勇なき……

あゝ、此所ブラジルにも勝てば官軍の哀れはありけるよ、敢てそんじよそこいらの醜傷先生に問ふ、『御身の上がデモ恥かしいか？それとも浮世雀がうるさいか？』

コタマ儲け私腹を肥やすに一生懸命だとあるが、何れも大陸支那でなければ見られぬ珍風景だ。

△

CASA TOZAN LTDA.
COMMISSARIOS
Phone : 2105 e 2106 - Endereço Teleg. "TOZAN"
Praca Maua, 25 - Caixa Postal, 911
SANTOS

珈琲コミッサリオ
カーザ東山

東山銀行
伯貨定期預金
一ケ年六歩

サンパウロ事務所
ルア・フロレンシオ・デ・アブレウ七四—七六
郵函五二八 サンパウロ
電話 三一一一四一番
三一一一四二番
三一一一四三番

リンス事務所
アベニーダ ボルンタリオ ロザリーノ シルバ一四七
郵函 一一番
電話 一四七

Banco Especie de Yokohama, Ltd.
The Yokohama Specie Bank, Ltd
Rua da Candelaria No, 23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro

切り取つて手紙の表にはられたし

◆伯貨預金
定期預金六ケ月以上利率當分年三歩五厘の割であります
外に當座預金特別當座預金など御便宜御取扱ひ申上げます

◆日本貨預金

◆鄉里送金
新爲替管理令により内地向送金は一口四百ミル迄許可さる、事となりました、但し送金許可獲得には多少の遲延は免かれません
尚新令により特別税として送金額の六分（6%）を、ブラジル銀行へ納入せねばなりませんから送金額以外に六分（6%）の金額を加へ御送金下さい、特別税六分（6%）御送金なき時は御送金金額中より差引き殘額内地向送金申上げる事と致します

横濱正金銀行
リオ・デ・ジヤネイロ支店

時局下國民必讀の文字

鎖國日本より世界日本へ（三）

陸軍大將　男爵　荒木貞夫

△

斯樣の間に少くも日本及日本人たる思想を維持したものは僅に漢學、國學、歷史等で、辛ふじて日本的に考ふる原を保持した。爰へながらも四書とか五經とかいふもので、東洋思想を窺ふ事が出來た。小學校から歸つて來ると漢學の先生の所へ行く、四書、五經の素讀、國學、歷史を學ぶ。小學校の教育は一つの義務であつて、本當の教育は寧ろ家庭の先生方の方であると考へて怪しまなかつたのである。『狼來れり、狼來れり、誰れか來りて救ひにまへ』なほも後になつて見れば皆リーダ又はイソップ物語等にある。始めて『君が代』の唱歌を學びオルガンで調子を整へる。球竿を持つて體操をやる。刀を捨て丁髷を切つて、洋服を着なければならぬ時代である。一にも西洋、二にも西洋である。山高帽子を戴き、鳴り革入りの短靴をはき、羽織を着、袴をはいて、ステッキを持つのが一番のハイカラであつた。

△

要するに外國に眞似ればならぬといふのである『萬機公論に決すべし』を高調したるは可なるも五ケ條御誓文の他の部分を忘れて、唯會議制度に狂奔して維新餘弊の藩閥に對抗せんとし、其間には加波山事件等々種々な事件を起し、有爲の人材を葬り去つた事も少くなかつた。又西洋尊重の結果、洋服なら背廣で何處でも間に合ふが、和服では遙に上位の紋附でも間に合はぬ。袴をはいて羽織を着ても公式の場所に通用が六ケ敷い有樣である。婦人の白襟紋附は通用せずして洋裝なら大抵通用出來るといふことも、皆西洋崇拜の一つの現れである。所謂鹿鳴館時代、後に屈辱的と云はれる時代も、歐米依存の一手段として又善い意味に於ても對等地位を獲る爲めの已むを得ぬ手段として出來たことである。

△

聞く所に依れば明治の元勳と云はれるやうな人も、歐羅巴視察に行かれた折、その船中に於て日本の國體を變革して共和制度と爲さなければ、彼等と對立は出來ないといふ議論まで出てやかましかつたといふことが書物に見えてゐる。岩倉具視公と佐々木高行侯は之に反對したが、多くの人々は變革論に傾いたといふことである。今より考へると誠に不都合至極な事であるが當時の風は尙しのばるものである。茲に一つ立證し得るのは、神風連の連中が始終憤慨して書いてゐるのに廟議に於て共和制度、歐羅巴風にすることを論じてゐるのは怪しからぬと云つて居る。

△

そうすると廟議に於ても共和制といふことが盛んにあつたに違ひない。又熊本の池邊吉十郎が明治九年に自誓書とかいふものを書いてゐる。此人は維新當事は元來佐幕派の人であつたと聞いてゐる。當時には佐幕派であつても皆其精神は勤王の稜々たるものであつて、皇室を尊重するの念は極めて強いものであつた事は當時の文書等にも明瞭である。此士が自誓書に、廟議で共和制を唱へてゐる、此の儘では いかないといふことを痛烈に書いて居る。さうして遂に神風連には加はらなかつたが西南の役には西郷南洲と進退を共にした。是等のことを綜合して見ると皇政復古以來間もなく、歐米に對立する爲には、日本の國體のことすらも考へられた跡が窺はれる。

△

今から見れば甚だ不届のことであつたが、當時の人は國を思ふ爲にあれやこれやとさう云ふことにまで思ひつめたのであらうかと推測し得るのである。今更遡つて兎や角いふのは過酷である。然らずんば吉田松陰先生が、尊皇攘夷の眞最中に、露西亞の船、亞米利加の船に乘つて、露西亞、亞米利加に渡つて彼等の世話になつても國を救はふといふ其精神を察する事が出來なくなる。手段から云へばおかしなことではあるが、それは已むに已まれぬ大和魂で茲に至つたと考へなければならぬ。

△

結果論から色々の事を論じ、過去に遡つて其精神を見すして唯事實を正面より追窮するやうになれば寛宏仁恕の日本精神に暗い影を指す事になる。吉田松陰先生は立派な勤王の士で我々の崇敬する方である。明治元勳の先輩である。見方々々に依つて、已むに已まれず茲に至つた當時の時代が如何許り黑船に驚いて國難に無我夢中になつて居たかを察し得られると共に、之を今日と的照して深く現時勢に思ひを致す必要を痛感する。

△

爾來議を閣する事七十年この間に、わが日本は押しも押されもせぬ世界の三大強國に躍進し、是等黑船を持つて居つた雄邦に對して今や萬丈の氣焰を吐くに至つた。夢の樣な氣もする、我々先輩の熱意、努力、已むに已まれぬ魂に、或場持には手段を撰びかねたといふことも萬察し、其尊き結果に就ては、其手段撰擇の暇なきを追窮する所か、心から感謝せねばならぬ。

△

といふ樣な宣傳に乘せられてゐる、又凡ての工業產業方面に於て色々不利な實情にあるのを、さも日本側の手に依つて、これ等の關係が赤軍の戰爭準備を妨害するやうなものであるとしてこれを利用する、つまり產業軍需品製造に關する總ての缺陷があれば、これは日本側の手によつてなされる戰爭準備妨害の現はれであると宣傳する、極東に於ける一例を擧げると、これは實際あつたことかどうか疑問であるが、ガマルニツク（中央の有力者であつた）と極東との關係を造り上げて、此ガマニツクの手先きとなつて舊極東共產黨地方委員會書記長であつたラウレンテイエフ及びワレイキス兩人がガマルニツクと其他の極東に於ける人々と提携して專ら極東の軍備を破壞せんがために種々な陰謀を繞らしてゐるといふ樣な事實を造りあげて彈壓を加へた、即ち之等の人が日本側の手先きとなつて極東赤軍の兵力を弱めんがため差万別だ、まづ主食分たる米穀類から調べて見やう、米の價格は、最高、最低が政府でチヤンときめられて居り、値上りな極力抑へられて居るはずなのだが、それでゆ米が一割三分二厘、白米四等が五分二厘、同三等が四分六厘、同二等が四分四厘万天々の驛賃になつて居る、尙粳改良麥も七分八厘万の驛賃である、一般物價高と、農村勞働力の低下、荷動きの停滯、某方面への需要增加等に基くものであらう、雜穀類はまだ余り驛賃して居らず、干うどんが三分七厘、小麥粉が三分三厘、食パンが二分九厘と云つた程度だ、これに對し鮮魚類の驛賃がはなはだしいのは注目に値ひする尤もこれは季節的にかなり

謀團を檢擧する一つの事實として彼等はさも自ら進んで日本側との戰爭を極東に於て惹起しやうとすること

露滿越境大將の所感

武力は充實す

對支援助と對日冒險政策

肅正の目的は何？

【東京發】本號第一面所載のリユシコフ●ゲンリツヒ●サイモロウイチ（三等大將）は越境一ケ月後麴町山王ホテルに於て內外記者團と左の如き一問一答を試みた

【問】スターリンとブリユツヘルとの關係が果して傳へらるる、が如き對立關係にあるか。

【答】この兩者の關係は外面的に見ると平均的であるが、スターリンがブリユツヘルに對して好感を持つてゐるからとて終局まで好感を持續するか否かは疑問だ、この問題に對しては自分は今余り深入りしたくない（とて色々な角度から質問するが明確な答を與へない）スターリン對ブリユツヘルといふ樣な關係も要するに相對的なものであると、ふ結論だけに止めて、如何に問ふても相對的といふのみで要點に觸れない。

【問】ソ聯軍備は東西同時作戰を目標として整備配置されてゐるのか。

【答】これは話す樣にスターリンは戰爭によりて活路を開かうとする政策を執つてゐるから國を擧げて非常な緊張狀態にある、戰爭に對する準備も入規模に實施されてゐる。現在赤軍は約二百万を數へ師團の數は百に上る飛行機並びに戰車も夫々數千臺を用意してありて凡ての軍需品製造能力も向上を計つてゐる、斯の如く戰爭準備が遂行されつゝあるが、スターリン政策そのものが動搖的であるために戰爭による局面打開策といふことも國內事情に左右されるから果して可能かどうか頗る疑問である、結局戰爭を遂行し得るか否かはその時の國內情勢に係はる問題である、極東に就ては可なりの武力が集中され、戰爭開始のため十分な攻擊力があるものと云はれてゐる結局獨立して戰爭を開始するか否かもその時の情勢によるものであつて、今それ以上云ふことは出來ぬ。

【問】支那事變に對するソ聯の方針如何。

【答】スターリンの支那に對する考へは日本に對するスターリンの冒險的な政策の武器であるといふ樣に支那を見てゐる、即ちスターリンは日本に對する冒險的政策を支那で利用しやうとし又は日本側の積極的行動に對する考へも今事變に對して日本の支那に供給し、指揮指導者幹部を支那に派遣し援助してゐるが、要するに國內の技術的武器生產能力並に希望をかけてゐる、從つて支那を出來るだけ自己の政策實施のために利用してゐる、之等の具体的政策としては飛行機その他の武器を支那に供給し、指揮指導者幹部を支那に派遣し援助してゐるが、要するに國內の技術的武器生產能力並にその性能試驗をこの日支事變を利用して試みやうとすることは、もう一つは多數の指揮幹部を支那に送ることによつて赤軍幹部の指揮統帥能力を高調させやうといふ目的が含まれてゐる、これ等二つの理由から積極的援助をやつてゐるのだ。

【問】ソ國民衆の對日感情及び排日の實情如何。

【答】ソ國民衆の對日感情は日本側の挑發的なことやこれ等の陰謀といふやうなものを造り上げて公判廷で公にして一般に知らしめる樣なことや又本年三月の公判に於ても一九三七年の乾燥子事件等も日本側の侵略行動である如く言つてゐる事實を見れば、滿洲の領海內に於てソ國の砲艦が擊沈されたのであるが、そう云ふ事件があれば逆に排日宣傳に利用してゐる、尙ほブラゴヴエスチエンスクのクリノフスキーの陰謀事件は彼を繞る陰謀に對する準備も入規模に實施されてゐる。現在赤軍は約二百万を數へ師團の數は百に上る飛行機並びに戰車も夫々數千臺を用意してありて凡ての軍需品製造能力も向上を計つてゐる、斯の如く戰爭準備が遂行されつゝあるが、スターリン政策そのものが動搖的であるために戰爭による局面打開策といふことも國內事情に左右されるから果して可能かどうか頗る疑問である、結局戰爭を遂行し得るか否かはその時の國內情勢に係はる問題である、極東に就ては可なりの武力が集中され、戰爭開始のため十分な攻擊力があるものと云はれてゐる結局獨立して戰爭を開始するか否かもその時の情勢によるものであつて、今それ以上云ふことは出來ぬ。

【問】支那事變に對するソ聯の方針如何。

【答】スターリンの支那に對する考へは日本に對するスターリンの冒險的な政策の武器であるといふ樣に支那を見てゐる、即ちスターリンは日本に對する冒險的政策を支那で利用しやうとし又は日本側の積極的行動及び排日の實情如何。

【答】ソ國民衆の對日感情は日本側の挑發的なことやこれ等の陰謀といふやうなものを造り上げて公判廷で公にして一般に知らしめる樣なことや又本年三月の公判に於ても一九三七年の乾燥子事件等も日本側の侵略行動である如く言つてゐる事實を見れば、滿洲の領海內に於てソ國の砲艦が擊沈されたのであるが、そう云ふ事件があれば逆に排日宣傳に利用してゐる、尙ほブラゴヴエスチエンスクのクリノフスキーの陰謀事件は彼を繞る陰謀を檢擧する一つの事實として彼等はさも自ら進んで日本側との戰爭を極東に於て惹起しやうとすることは有難いことだ、醫藥品としては胃腸賣藥が少し昂つて居る外か、感冒賣藥、口中藥雪藥等いづれも事變前よりいくらか安くなつて居る

尤

も衛生材料の昂りは幾分大きい樣で、今後のたやみの種となつて居る、例へば、脫脂綿の五割三分高マニラ塵紙の二割五分高は原料輸入制限の關係で昂つて居るのは仕方がないとして、ボマードが一割二分高齒ブラシの七分六厘高、白粉の三分六厘高等々、髮油の三分八厘高、齒ミガキ粉の三分五厘高はあまり有難くない、もつともボマードは高くなつた方が、頭をまるでトンボの目玉のやうにテカ〳〵するキザな奴が尠なくなつていゝ、白粉も高くなれば壁のやうに塗りたくる

不

良マダムが少しは減少するであらうから、結果はかへつて良好である。物價の昂りは都市を美化し風俗を淳朴化する……か、尙家賃の昂りはまだあまり無いやうだが、入浴料や理髮代、洗濯代などは徐々に高くなりつゝある、チヨツと遠出の旅行には通行稅をとられ、物價昂りの波はそれからそれへと擴がつて行き、大衆のさ、やかな娛樂にまで及んで居るのである

日本は物資の不足から

物價は騰る一方

今では世界の水準を突破す

たべ物關係の調べ

戰爭のために物資が不足するのは當然で『物』が不足すれば高くなるのも是れまた當然と謂へば夫れまでであるが、暴利取締、最高價格制設定、公定値段決行などの抑制に政府當局は大童になつて居る、けれ共卸値には効いても小賣値段には効果がないので、大巾の驛賃を示して居る、左に日本よりの最近信を揭げて讀者の參考に資し併せて在外同胞としての大非常時局に對する覺悟を促す次第である（記者）

東京市の調査によると、飲食料品は平均して、事變前に比し、このごろの驛勢は八分二厘となつて居る、然かし此の內譯を見ると、とてつもなく驛つて居るもの、驛賃の比較的弱いもの幾分低下して居るもの等千變萬變だ、まづ主食分たる米穀類から調べて見やう、米の價格は、最高、最低が政府でチヤンときめられて居り、値上りな極力抑へられて居るはずなのだが、それでゆ米が一割三分二厘、白米四等が五分二厘、同三等が四分六厘、同二等が四分四厘万天々の驛賃になつて居る、尙粳改良麥も七分八厘万の驛賃である、一般物價高と、農村勞働力の低下、荷動きの停滯、某方面への需要增加等に基くものであらう、雜穀類はまだ余り驛賃して居らず、干うどんが三分七厘、小麥粉が三分三厘、食パンが二分九厘と云つた程度だ、これに對し鮮魚類の驛賃がはなはだしいのは注目に値ひする尤もこれは季節的にかなり

變動が大きく、今年の四月と、去年の七月とを單に比較しての結論は少々無理である

強

いて說明をつければ、最近の驛勢の一半の原因としては、やはり魚業勞働不足、運搬費の驛賃等が擧げられやう、事變前に比し、このごろの比較だと鯛の如き十割以上、鰺の如き九割五分の昂驛だ、またこれ程に昂驛のはげしくないものとしては、鰯の三割一分九厘、蛤の二割四分二厘、鳥跋の二割二分二厘、鰈の一割一分四厘等々がある。肉類も事變からこの方相當の値上りを示し、ブタで二割七分八厘、牛肉が二割三分五厘、鷄肉が一割六分六厘万の各々驛賃だ

野

菜類は全体とすれば一割二分方の低減になつて居るが、ものによつて非常に違ふ、例へば玉葱や甘藍等は二十割も驛賃して居るのに里芋やお薩は五割から六割位も低下して居ると云つた樣に、尙大根や蕪青類が驛賃しつゝあるからこれからは奧さん連中のおまかないプランが益々ひづかしくなつて來る譯だ、酒やビールも事變前にくらべると、一割弱の驛賃である二合の晩酌も一合でガマンしなければならず

街

のヨツパラヒもさういつまでクダをまいて居るわけにはいかなくなるであらう、それから物價驛賃の波がつひに菓子類にまで襲來して來たことは第二世にとつて甚だ御氣の毒の次第と云はねばならぬ、ビスケツトが七分五厘、大福が七分一厘、センベイが六分二厘、晒餡二分一厘それぞれの昂りである、最後に醬油、味噌と二分乃至五分の昂りを見せて居るが、砂糖が一寸安くなつて居ることは心强いが、しかし全体として見れば、極く僅かではあるが、お臺所のおそうざい類が驛賃しつゝあるからこれからは奧さん連中のおまかないプランが益々ひづかしくなつて來る譯だ、酒やビールも事變前にくらべると、一割弱の驛賃である二合の晩酌も一合でガマンしなければならず

街

のヨツパラヒもさういつまでクダをまいて居るわけにはいかなくなるであらう、それから物價驛賃の波がつひに菓子類にまで襲來して來たことは第二世にとつて甚だ御氣の毒の次第と云はねばならぬ、ビスケツトが七分五厘、大福が七分一厘、センベイが六分二厘、晒餡二分一厘それぞれの昂りである、最後に醬油、味噌と二分乃至五分の昂りを見せて居るが、砂糖が一寸安くなつて居ることは心强いが、しかし全体として見れば、極く僅かではあるが、お臺所のおそうざい類が驛賃しつゝあるからこれからは奧さん連中のおまかないプランが益々ひづかしくなつて來る譯だ、酒やビールも事變前にくらべると、一割弱の驛賃である二合の晩酌も一合でガマンしなければならず

人參、葱等などもそれ〳〵驛賃して居る、しかしこれ等は天候や、出廻り關係如何で値段に、はなはだしい開きがあるから、比較してもあまり意味がない、お臺所の副食物としては豆腐、油揚げコンニヤク等まだ事變前と變らない水準にある

ま

た煮豆、澤庵などは一、二割方低下して居るものもあるが、奈良漬、梅干福神漬、竹輪、佃煮は微驛して居る、調味料としては醬油、味噌と二分乃至五分の昂りを見せて居るが、砂糖が一寸安くなつて居ることは心强い、しかし全体として見れば、極く僅かではあるが、お臺所のおそうざい類が驛賃しつゝあるからこれからは奧さん連中のおまかないプランが益々ひづかしくなつて來る譯だ、酒やビールも事變前にくらべると、一割弱の驛賃である二合の晩酌も一合でガマンしなければならず

樂衛生材料品の昂りが七分三厘で最低を示して居ることは有難いことだ、醫藥品としては胃腸賣藥が少し昂つて居る外か、感冒賣藥、口中藥雪藥等いづれも事變前よりいくらか安くなつて居る

尤

も衛生材料の昂りは幾分大きい樣で、今後のたやみの種となつて居る、例へば、脫脂綿の五割三分高マニラ塵紙の二割五分高は原料輸入制限の關係で昂つて居るのは仕方がないとして、ボマードが一割二分高齒ブラシの七分六厘高、白粉の三分六厘高等々、髮油の三分八厘高、齒ミガキ粉の三分五厘高はあまり有難くない、もつともボマードは高くなつた方が、頭をまるでトンボの目玉のやうにテカ〳〵するキザな奴が尠なくなつていゝ、白粉も高くなれば壁のやうに塗りたくる

不

良マダムが少しは減少するであらうから、結果はかへつて良好である。物價の昂りは都市を美化し風俗を淳朴化する……か、尙家賃の昂りはまだあまり無いやうだが、入浴料や理髮代、洗濯代などは徐々に高くなりつゝある、チヨツと遠出の旅行には通行稅をとられ、物價昂りの波はそれからそれへと擴がつて行き、大衆のさ、やかな娛樂にまで及んで居るのである

米人飛行家が空軍禮讚

日本は世界一だと

【桑港發】一時支那の飛行隊に一方の隊長を拜命し、三十六機を引卒して時々日本軍空襲に出掛けた米國人シュミツが支那空軍並びに日本空軍について語つた實戰談は興味津々たるものだが、その一節を紹介すればこんなのがある『支那の空軍は今やアメリカ人を排除して、全部ソ聯人に變更した、米國人が豫想に反し、支那を援助しないので實際に援助してくれるソ聯の者に乘り替へたのである、蔣夫人は米國畑だから、夫人をまさして其富時ソ聯派の宋子文を其の隊長にしたのもこれがためであることは周知の事實だ、日本空軍の腕前に就いては世間ではかれこれ傳へるが、それ等は純然たる宣傳のための宣傳である、自分は六ケ月間日本空軍と實戰をやつたから知つて居るが、恐らく巧妙な空戰振りは世界第一である、事實は事實だから仕方がない』と日本を極力賞揚して居た。

血煙る武昌と漢口の印象（3）

（巴里新聞特派ドーマツソン）

△

ホテルでは、漢口でこの名に價する唯一のものなるホテル、テルミヌスのことを云ふのである、その頂上に見へるよ』と

筆者このすばらしい勸告に從つた、そのために梯子で幾つもの屋根裏部屋を昇らねばならぬ、これは隨分危險であるといふ譯は、數日前、支那に於ける瑞西赤十字の代表者であるC博士が、この觀望臺に登ろうと急いだ余り、特に抵抗力の弱かつた床板を片足で踏み拔いた、そして崩れ落ちる漆喰の間から博士の脚がこのホテルに宿泊してゐた一人の老婦人の恐怖せる目の前に ヌツと現はれたのである、その瞬間、さては日本の飛行機が、漢口市街を强襲するためにかの女の寢室の天井板をぶち拔いて落下したのだと思つたと云ふことである。

△

われ等が屋上に到達するや、そこからは事實、市街とその近傍が一目で見渡された、サイレンが再び鳴り出した。第二の警報は『日本機近づけり』といふ意味である。

――貴君は兜を持つてゐられるか、と世話好きな同業者は筆者に尋ねた、彼は南京の思出である上等な塹壕帽を冠つてゐる、一つお持ちになつたが宜しいですよ、時たま榴彈の砲片がこゝまで跳ねかへつてくることもありますから……

まあこれを頭に載せておき給へ、何もないよりはましです、と彼は拾つてきた鍋型のものを筆者に渡し乍ら云ひ添へた、この鍋のお蔭で筆者は一段と男振りが上るに違ひない。

△

市街は今や全く寂寞そのものだ、近くの道路と地續のシネマ館に避難して居るに違ひない。

△

ホテルの近傍は今や全く寂寞そのものだ、近くの道路と地續のシネマ館に避難して居るに違ひない。

△

ホテルでは、漢口でこの名に價する唯一のものなるホテル、テルミヌスのことを云ふのである、その頂上には皆さん御安心下さいと云はんばかりに佛蘭西國旗が飜つてゐる、たとへそのホテルはスイス人に依つて經營され、且つお客さんは支那人や、ロシアの乾いた音が聞える。

△

戰鬪隊形をなして、支那軍の抵抗を氣にかける樣子もなく飛びつゞけてゐる日本飛行隊は、今や飛行場の上空にさしかゝると、そのうちの二機が急降下して來て、爆彈を投下するのが明瞭に看取される、間もなく幾條かの火焰が飛行場から舞ひ上る

――地上の支那機一台に命中したのだ、燃えてゐるのがそれです、と雙眼鏡を携へた一人の觀測者が筆者に確信を洩した。

過ぎた、と最初の砲聲が轟く、つぎに二砲、續いて三砲、煙の小さい雲が空中に生ずるのが見える、が日本の飛行機よりは可成り離れた所であつた、飛行機はその訪問の主たる目標である漢陽の軍用飛行場と兵器廠に向つて進路をとる。

△

更に數秒の後、そしてそれは四十五分繼續したのであるが、支那軍の高射砲と日本空軍の爆擊との相對する反擊の下、喧騷は耳を聾する許り、時折われらから危險であるといふ譯は、數日前、支那に於ける瑞西赤十字の代表者であるC博士が、この觀望臺に登ろうと急いだ余り、特に抵抗力の弱かつた床板を片足で踏み拔いた、そして崩れ落ちる漆喰の間から博士の脚がこのホテルに宿泊してゐた一人の老婦人の恐怖せる目の前に ヌツと現はれたのである、その瞬間、さては日本の飛行機が、漢口市街を强襲するためにかの女の寢室の天井板をぶち拔いて落下したのだと思つたと云ふことである。

△

われ等が屋上に到達するや、そこからは事實、市街とその近傍が一目で見渡された、サイレンが再び鳴り出した。第二の警報は『日本機近づけり』といふ意味である。

――貴君は兜を持つてゐられるか、と世話好きな同業者は筆者に尋ねた、彼は南京の思出である上等な塹壕帽を冠つてゐる、一つお持ちになつたが宜しいですよ、時たま榴彈の砲片がこゝまで跳ねかへつてくることもありますから……

まあこれを頭に載せておき給へ、何もないよりはましです、と彼は拾つてきた鍋型のものを筆者に渡し乍ら云ひ添へた、この鍋のお蔭で筆者は一段と男振りが上るに違ひない。

△

市街は今や全く寂寞そのものだ、近くの道路と地續のシネマ館に避難して居るに違ひない。

△

ホテルでは、漢口でこの名に價する唯一のものなるホテル、テルミヌスのことを云ふのである、その頂上には皆さん御安心下さいと云はんばかりに佛蘭西國旗が飜つてゐる、たとへそのホテルはスイス人に依つて經營され、且つお客さんは支那人や、ロシア

料亭　富田家

聖市　コンセレイロ　フルタード街　一三五　電話　二一六七六七

料亭　千鳥

ピネイロス　フエル　ナンヂアス　五二（女給さん數名入用）

北川重信

伯國齒科醫學士　リオ醫大出身

診療時間　午前　自八時　至十一時三十分　午後　自一時　至九時三十分

聖市　イルマン　シンプリシアーナ二二　伊藤陽三商會二階　電話　二一五六二二

淺倉齒科院

聖市グローリア街三五二　電話二一六八四八

●毎日曜日コチアへ出張診療（室永氏方）

Rua da Gloria 352 S.Paulo (Largo do S.Paulo)

安瀨商會

ANZE MOLIZI　CAIXA POSTAL 300　ARAÇATUBA.N.O.B

本店　アラサツーバ市　事務所　精米所　珈琲倉庫　電話五四　郵函二〇〇

支店　アグアリンパ　內外雜貨　食料品　珈琲　フバ工場

支店　ヴアルパライゾ

精米珈琲精撰　農產物　賣買及委託販賣

瀨ノ上商會

本店　ノロエステ線　グアラペス　郵函　五〇番　電話　一二番

精米場　ノロ線　グワラサイ町

御知らせ

外國人商工業者登錄

但し一九三八年三月十七日以後新しく開業する者、三月十七日以前既登錄者は登錄の必要なし

鑑識手帳（カルテイラ、デ、イデンチダーデ）（旅券持參すれば一日で完了）（料金五拾ミル也）

新法令移民法の規定により外國人滿十八歲以上の男子は凡て鑑識手帳を發令五月四日後一ケ年內に保持する事

旅券飜譯料　一般手續に要する場合は廿ミル　特別に鑑識手帳（カルテーラ　デ　イデンチダーデ）に要する場合は五ミル）

以上登錄並に鑑識手帳に要する委細說明は南米新報第百九十三號掲載記事を參照されたし

右新法令に順じ當所では特別に便利部を設け確實迅速に廉價で取扱ますから至急御申込下さい

座喜味法律事務所

辯護士　公證飜譯人　座喜味盛德

電話　二一四三五八

Rua do Carmo, 18 3º andar C. Postal,3730 - S. PAULO

大阪商船　發着廣告

日本へ

北米經由　北米經由　もんてびでお丸　Santos發九月一六日　横濱着一月三日

ケーもんてびでお丸　Santos發八月一〇日　横濱着一〇月四日

日本より

ウンよりらぷらた丸　Santos發七月一六日　神戸發八月一一日　Santos着八月二九日　神戸着九月二四日

サントス　ブラジル大阪商船會社（Soc. de Nav. Osaka do Brasil Ltda.）Rua Cidade do Toledo, 31 SANTOS

聖市　伯剌西爾大阪商船會社出張所（Soc. de Nav. Osaka do Brasil Ltda.）Filial de S. PAULO Rua da Quitanda, 82 S. PAULO

リオ　Wilson Sons & Co. Ltda. Avenida Rio Branco, 37

詳細は弊社又は店代理へ記下

暗雲低迷する
魔都のモスカウを經由
シベリアを横斷
日本へ歸ってホッとした

【東京發】リュシコフ大將の越境事件以來、とみに緊張を加へて來たソ聯の極東國境線、血で血をあらふその蕭軍、にもか、はらず敗戰に狂亂の舞を操る赤い魔都モスカウの風雲いよ／＼暗黑の謎をふかめ行くソ聯現下の國情はどうか――たまたま音樂の都ヴヰーンに遊學中の提琴家鰐淵賢舟(二九)氏が音樂家であるが故に折衝に六週間も要したが、特にベルリン駐在ソ聯總領事から査証を許されてヴヰーンで迎へた花のやうな新夫人ベルタ(二四)さんを同道モスカウ經由シベリア鐵道により最近日本人としては、初めて暗雲低迷する新情勢下のソ聯大陸を横斷して歸朝

△　△　△

十一日午後七時四十五分東京驛着入京した、その目に寫つたソ聯國情は？同氏を車中に訪へば、僅かに二十日間の間に緊迫したソ聯と新興滿洲國、戰時下の祖國と……目まぐるしいまでに激變し行くる國々の諸相を再び腦裏にうかべながら、夫妻は交々に興奮の面持ちで語つた、『ベルリンで汽車に乘つて六月十九日夕國境の街ニコリロイに着いたこ、から一週間のロシア大陸横斷の旅がはじまるのだが、檢閲があると云ふので、持物を一切出す』

△　△　△

ツウリスト・ビューローの人達が色々世話をしてくれるがこれ等の人々は全部グ・ペ・ウださうだ、だから紙と名のつくものは私信であらうが、樂譜であらうが一々丹念に調べるし、寫眞機は國內撮影禁止の建前から國境を出でるまで保管される檢査はえらく神經質でトランクのホテルのレベルまで一々眼を尖らせて居た列車に乘ると少しは氣樂だが、車中の散歩で後部列車へ行くことは絶對に禁止だ軍需品が積んであるとの事であつた、乘客は大体軍人たちである、私の乘つて居た車には將校が二十四人も居た、一般の乘客はと云ふと

△　△　△

これは將校とちがつて服裝も汚ならしくまるで支那の苦力のやうに所かまはずゴロ／＼と芋のやうに寢て居る、持物もバケツや袋だけで、トランクなぞを持つて居るものはない、そしてこの車內を青い色の帽子を冠つたグ・ペ・ウがうさん臭さうに二人づゝ組んで巡視して居るが、この青帽は將校たちよりも隨分威張りくさつて居る、こうして翌々朝モスカウに着いた八時間暇があつたのでメトロポール（モスカウ第一のホテル）へ寄り演藝場で映畫を見た、題はわすれたがふるい五、六卷のもので、この映畫一つ見るだけに二圓五十錢をとられた、日本ならば割引で二十錢と云ふ所でせう

△　△　△

カリムスカヤの附近に新らしい飛行場が出來つゝあつた、數十臺の飛行機物が非常に高い、汽車の食堂にあるサイダーが一本一圓七十五錢、食物でも特に註文すると二三十圓とられる、モスカウ廣場にソ聯の大砲、飛行機を描いてその下方にハーケンクロイツのマークをつけて飛行機が墜落して居るベンキ塗りの繪がそびへて居た、防共協定に對する自國民への示威の意味だ、再び汽車の人となり、いよ／＼シベリアに入つたが、沿道はかぎりなき草原で、所々に部落がある住民はみんな跣足で牛を追ふて居た、滿洲里に近かづくと、やつぱり國境地帶だけに緊張した空氣が感ぜられた、

△　△　△

が翼をならべて居たが、あそこからなら國境へ一飛びだらう、そして驛々で盛んに自動車を汽車に積み込んで居た、軍人の乘降も激しくなつた、シベリアでは客車の窓を閉めると云ふことも聞いて居たが、僕たちの時は一度も閉められなかつた、

△　△　△

しかしそれにしてもあの空氣は音樂家の僕にさへも何かヒシヒシと迫る緊張したものがあつた、こうして二十七日の朝滿洲里に着き、祖國へ歸つた思ひでホッとしました、實際ソ聯國は物は高いし血の蕭清工作に精神的壓迫を感じ希望を失つたのでせう、希望のない人間に見へてしやうがなかつた。

人權問題で俄然緊張の
國鐵疑獄事件公判
辯護人係檢事に詰め寄る

【東京發】國鐵疑獄事件公判は諏訪部信逸、石松潔兩氏の人權蹂躙問題暴露から俄然緊張して來たが、更に客月廿五日の法廷では人權蹂躙問題を繞つて係檢事と係辯護人との間に猛烈な問答が展開され、問題を今後に殘す事になつたが、さきの帝人事件でも同樣の問題が繰返され、小泉裁判長が如何に處理して行くか漸く注目されて來た、即ち廿五日の公判で石松氏の訊問をなじると氏の辯護人島田武夫氏は立會ひの堀檢事に對して

「堀檢事は警視廳に出張して取調べられた事があるか、又馬場、柳川兩檢事と共に石松被告を調べた事があるか」

と質問すると、堀檢事は「論告の際申上げます」と一蹴したので、更に島田辯護人は

「堀檢事は被告に對して貴樣の樣な奴は國籍を除いてやると云ひ又陛下の御命令で調べる檢事に對してウソを吐くとは何事だと云はれたと被告は云つて居るが、左樣な事實があつたかどうか」

と詰め寄ると、堀檢事は之

又

「いづれ論告の際申し上げる」

辯　どんなつもりで公判に立會つて居るか

檢　答へる必要はない

法廷は色めき立ち一松定吉辯護人は憤然として

「單に左樣な事實があつたか否かをお尋ねしてゐるのだ、之に對するお答へは審理續行上、又事實を知る上にも、證人を申請する上にも辯護人としては心要である、いやしくも一國の公益を代表する檢事は之に對して正々堂々とお答へあつて然るべきものだと思ふ、國家のため、檢事局の威信を高める上にも重大な事であるから、上司と熟議の上適當の時機に於て明らかにされん事を要求すると大聲で迫つたので小泉裁判長も立會檢事に答辯を促したが檢事は

「只今其事に就いては答辯の必要なしと思料すると飽迄も突つぱね、島田辯護人は更に

「我々は審理に協力する爲にお答へを要求するのだ」

人の眼は何故ほどものを言ふ？
在リオK&K生稿 (1)

▷▷▷▷▷▷▷▷▷▷▷▷

天地間に於ける物の活動には必ず電氣現象が伴ふものであります、是を無生物界に求めて見ますと、物の摩擦、水の蒸發熱の偉力、諸種の化學現象、磁力現象等、一としてその根底に電氣の證明せられないものはありません、其所で吾々の樣な生きて居る體――つまり樣々な物理と化學の現象範圍を出る事のない人間乃至動物――と雖も甚だうるさい事であります、此の困難な電氣現象を諸種の活動の中に伴はないでは居られない。

▽……△

よく俗に云ふ『蟲が好くとか好かないとか』理由を付けやうにもつけやうがないと、若し是を電氣現象に飜譯すると實にわけなく形が付く、即ち腦の活動には電波の放射が伴ふ、某甲の電波と某乙の電波の間にはその波長なり振動數なりの間に先天的調和を欠いて居るとする、そうすれば其所には理由の不明な壓忌なり憎惡なりが生れても別に不思議はないと云ふ事になる但し是は想像であり未だ證明されて居ない事であるから筆者はその眞疑を保證しません。

▽……△

國民總動員の銃後風景
賴母しい意氣

【東京發】長期戰對應の國民精神總動員運動は今や全國的に目ざましい活躍を展開して各地に銃後國民のたのもしい意氣と覺悟が示めされて居るが、今その二、三を拾つて見る。

一、非常時のこの際白粉を塗るより壁を塗りませうと東京麻布の府立第三高女生は古くなつた教室の壁塗りをはじめ校庭の草取り、晒書、標本整理、ペンキ塗り、道路のコンクリート舗裝など開校以來の大掃除をして居る

二、長期戰は梅干でと秋田縣田利郡西目村國防婦人會は先づ理想的な漬け方に就いて講習會を開き、全村六百七十戶が從來よりは一升づゝ、多く漬け、これを集めてこの秋までに國防獻納する

三、靴を廢めませうと島根縣立今市高等女學校生徒六百名はおそろいで赤い花緒の下駄をはき登校して居るが、素足に赤い花緒の對象は若々しい情緒をたゞよはせ町の夕涼みの話題となつて居る

四、前線將兵の留守中の家族の生活狀態を記錄するため、佐賀縣松浦郡値賀村では應召家族留守日記と云ふのを村費で作り各家に配付して記入すること、した、留子中の出來事一切を眞實に細大もらさず書きとめるやう項目分けにしてある

力士を擧げて相撲號
盛な獻納大會

大日相撲協會全年寄、全力士擧げて報國の初志を貫くべく、既報の通り第二回愛國機『相撲號』獻納大相撲大會は關係者全員の熱心な努力によつて短時日の準備にも不拘非常なる成績をあげた、夏場所後花相撲の氾濫のため第一回成績に比べ稍落ちたが、その純益一萬二千二圓三錢といふ數字を擧げた、愛國機獻納會で純益金全部を軍當局に獻納すること、し、去る八日協會取締藤島秀光、檢査役花龍平五郎兩氏、愛國機獻納會鈴木氏と同道正式に陸軍省に出頭、右金額を愛國機『相撲號』第二回資金として獻納手續を了した。陸軍當局では、非常なる喜ひを以て鄭重なる謝辭あり、代表者一同少からぬ面目を施して退出、來年二月五日（日曜）第三回獻納大相撲にはぜひとも第一回第二回におとらぬ好成績をあげ愛國機『相撲號』の無敵空軍への參加を期待すべく今後數倍の努力を措しまぬ覺悟と決心を新にした。【東京特報】

運轉手殺しの稻垣逃亡
嫌疑愈々濃厚

既報モンテアルトに於て自動車運轉手アントニオ、タラガなる者を殺害して行衛を晦ませたと稱せらる、稻垣多喜男青年に就て其筋よりの發表に依れば

モンテアルト街道にタキシー自動車が放棄してあつた所から足がつき捜索の結果珈琲園內に右自動車の持主運轉手アントニオ、タラガが脊中に四發の彈丸を喰ひ死んでゐたので犯人取調中、アントニオが最後に載せた乘客は日本人の稻垣であり、同人は親戚の者を訪問に行くからとてアントニオの車を呼びモンテアルトの市街を離れて背後より

アントニオを射殺し所持金の四コントスを奪ひ、珈琲園に死體を遺棄して逃亡したものとの嫌疑から其筋では稻垣の元住所バレットス郡アルベルトモレイラ驛バクリー耕地も捜査したが是處には居らず何れへか高飛びしたものと云ふ見込で目下全聖州內はもとより隣接各州の警察へ打電して稻垣逮捕の協力方を依賴してゐると

北西線巡遊の總領事
歡迎會に

【アラサツーバ】坂根總領事は齊藤副領事同伴廿日午後當市着、バラシオホテルへ投宿したが旅裝を解く暇もなく六時任留邦人歡迎裡に新學園講堂に臨場一時間に亘り得意の長廣舌を振ひたる後食堂にて地方代表者百余名と會食、翌廿一日午前八時から秋水外交部長の案內で野中會長以下白石安瀨菊地野村の各役員隨伴、市廳、慈善病院其他を訪問し午后よりアグリンパ、カフエゾポリス等を視察、何れも盛大な歡迎を受け、總領事は各植民地で一場の講演を試みたが常に謙遜な態度で臨んだので隨行齊藤（芳）副領事と共に一般に好感を與へた

【グアララペス】廿二日正午近く坂根總領事一行はアララペス市より當地着、小學校に於ける歡迎會に臨み瀨ノ上會長河本青年會長の歡迎の辭に續いて小學生男女二名が鮮かな日本語で歡迎の挨拶を述べたので臨席者一同を感動せしめた、之れは日頃當該教師の教育よろしきを得て居る表はれとして頼もしく思はせた、生徒曰く

『私達は伯國に生れたブラジル人でありますが、日本人を兩親に有ち、大和民族の血を承けたブラジル人として立派な市民となる覺悟であります云々

在伯日本人の誇り
第二世名譽の死
甲斐喜次郎氏長男伯國生れ

【ペンナポリス】ノロエステ線ペンナポリス中央共和植民地在住の甲斐喜次郎氏長男甲斐繁君は伯國生れにて七才の折り勉學のため日本に歸され、その後適齢に達したので入營中、今次の事變で最前線にて奮戰、去る七月廿三日名譽の戰死を遂げられたとの電報に接し植民者一同の發起にて八月廿三日厳かに慰靈祭が擧行された

當日は附近の植民地からも青年團や小學生徒の參列して盛大を極めた此名譽の戰死者の叔父に當る人も現在戰線にて奮闘中とのこと重ね／＼感激に堪へぬ次第である

伯國生れの第二世にして斯かる人を出だせしは同胞子弟教育上眞に喜ばしき事である。

御注意
巧妙な僞札に

市內某商店より聖州稅務所に納入すべき州稅九コント六百ミルを三十日店員が持參して支拂ひを濟ますやうとした時、稅務所の現金出納係が右金額を勘定中廿ミル札の僞物を發見し驚いて全部に亘り一枚々々紙幣を取調べた處出るは／＼十ミルと廿ミルの僞物合せて一コント三十ミルの僞札に達したので大騒ぎとなり直に納入主を呼び出し其旨を告げ、納入者もまさか僞物とは氣附かず店員に納稅させた事とて青くなつて早速警察に届け出た、其筋では時を移さず犯人檢擧に着手したが僞札は十ミル廿ミル五十ミル百ミルの四種で頗る巧妙に出

十ミル廿ミル

來て居り、チヨット眞僞の鑑別ができぬ程で、之れはリオで製造され既に同地では市場に撒布され全額約三百コントスに及び聖市のみならず何れ州內各地にも出沒するであらうと見られてゐるから注意を要する

記者の雜記帳

△

ノロエステを視察した坂根總領事齊藤副領事の一行は如才なくアツサリ植民者に應接するので何處でも好感を以て迎へられてゐる、ブラジルでは日本のお役人樣と云ふは在留民に横柄な人種だと三十年來印象づけられて居るので、少しサバケて出られると、今度の領事さんはホンにいゝ人ばいなアと譯なく嬉しがられる、それだけ無邪氣なもの？

△

無邪氣は結構だが少しは時と場合を考へなくては……と云ふのは坂根總領事の歡迎に宇頂天になつたアラサツーバの一部有志家達は十四日の聯日會地方代表者協議會の決議を無視して一人十ミル宛の歡迎會費を百ミルに變更したなんぞ、苟も衆に表たるもの時局柄をも考へなくては……との非難が高い

△

廿七、八の兩日にわたり市內大正小學校の講堂で學生聯盟主催學生雄辯大會が開かれ、彼等の有する思想覺悟を發表したが何れも純情の若人が誰れに憚るところも無く胸奥の眞實を吐露したので、聽者を非常に感動せしめた

現今の學聯には準第二世でマジメな青年が幹部に多いから割合に堅實な歩みを進めてゐるのは頼母しい事だ第二世の問題は要するに指導誘掖の問題である、聯盟中一日でも長ある者、一日でも多く日本の教育を受けた所謂準第二世諸君の責は重い、愈々自重奮勵を祈て已まない

珈琲園に死體を遺棄して逃亡したものとの嫌疑から其筋では稻垣の元住所バレットス郡アルベルトモレイラ驛バクリー耕地も捜査したが是處には居らず何れへか高飛びしたものと云ふ見込で目下全聖州內はもとより隣接各州の警察へ打電して稻垣逮捕の協力方を依賴してゐると

總領事

第二世名譽の死

御注意

料亭青柳

聖市　ルア　タバチンゲーラ　五六
電話　二一一九四八番

CASA HAMAOKA
Rua Ceres 106 C. Postal 993 S. Paulo
施肥によつて增收と品質の向上を計りませう
配合肥料「バタタ　アルゴドン　トマテ」用
其他有機質及化學肥料一般
●御申込次第定價表差上ます
聖市　濱岡商店
電話　二一七五八一番

Escritorio SOOMA Ltda.
R. Fellipe de Oliveira, 21 C. P. 4418
Tel. 2-7609 S. PAULO
早く安く確實に
一、商工業者登錄
一、歸化手續
一、地權調査、問題解決
諸交渉ならば奇蹟的手腕有り
御試し下さい（各集團地に取次人を置く）
相馬法律事務所
聖市フエリツペデオリベイラ街廿一
郵函四四一八　電話二一七六〇九

告示

商工業者ノ登錄ニ關スル件

一、本年三月二十八日附ヲ以テ所謂外國人商工業者登錄ニ關スル新法令公布セラレタル處之カ法規の內容並ニ登錄手續ニ關シ、當館ニ對シ種々照會越ス向多々有之ヲ以テ本法ノ概要々點左ニ摘記シ置クニ付關係者ハ右諒知ノ上可然措置相成樣致度

尙本件ニ關シテハ發令當時當地發行ノ邦字新聞に夫々法文飜譯ノ掲載等ヲ見タルノミナラス『商工業者ノ友』四月號及び五六月號並ニ『日伯新聞』七月三十一日、八月一日及同三日版等ニハ詳細ナル解說ヲ加ヘ居ル向アルニ付併セテ參照ノ價値アルヘシ

記

外國人ノ商業登錄ニ關スル件

一、本年三月二十八日公布サレタル新法令ハ外國人商工業者ノ『フイルマ』登錄ヲ定メタルモノニ非ズシテ商業登記法規ニ從ヒ商業登記ヲナス當事業者カ外國人ナル時ハ其適法入國者ナルコト現實在伯者ナルコト品行方正者ナルコトヲ立證スヘキ書類提出義務ヲ定メタルモノナリ、右ノ必要提出書類提出義務ヲ定メタルモノナリ、右ノ書類ハ旅券、鑑識手帳（カルテイラ、デ、イデンチダーデ）外國人入出國及在留取締特別警察署ヨリ發給セル在留期間及品行方正證明書ナリ

二、故ニ商工業者トシテ商業登記ヲ必要トスルコトハ內國人タルト外國人タルトニ拘ラス一樣ニ必要ナルコトハ從前ト何等變更無キモノナリ從ツテ該法公布以前既ニ適法ニ登記ヲナシ居ル者ハ今更メテ登記ヲナスヲ要スト云フニ非スシテ該法公布後ニ登記ヲナス場合或ハ既ニナシ居レル登記ニ付何等カ變更登記ヲナス場合當事者カ外國人ナル時ハ前記書類ヲ提出セサルヘカラサルモノナリ

三、前記書類ヲ調整スル爲ニ要スル費用ハ當事者自ラ手續ヲナス時ハ印紙料、證明料等ノ實費ノミニテ濟ムヘキモノ之等手續ヲ業務トシテ取扱ヒ居ル者ニ依賴スルトキハ其手數料ヲ要シ之ハ業者ニヨリ異リ一樣ナラス實費ハ印紙ノミニテ約百ミルヲ要スヘシ

昭和十三年八月二十二日
在『サンパウロ』
帝國總領事館

求人
（市內外務員）
南米新報社

主要產物市況

【八月卅一日現在】

●カフエー（四級品）一九、六〇〇
●アルゴドン（五級品）四四、五〇〇
●白米（アグーリヤ）買値 八六、〇〇〇
エストラ　買値 七三、〇〇〇
ポン
●フエジヨン　買値 三五、〇〇〇
ムラチーニヨ
同上ポン　二九、〇〇〇
●ミーリヨ　一九、六〇〇
アマレリニヨ　一七、四〇〇
●アマレロン　買値
●バタチンニヤ　二五、〇〇〇
スペリオル　一八、〇〇〇
ポア
●メリケン粉
一等品　四八、〇〇〇
●砂糖（白極上）七〇、〇〇〇
●バンニヤ（箱）三九、〇〇〇
●マモーナ　四〇〇

爲替相場

對日　五、二〇〇
對英　八六、四二八
對米　一七、七〇二

社告

右弊社々員地方愛讀者各位を訪問致させ候間何卒よろしく御配慮下され度御申願上げ候

六月三十日

南米新報社

今田求

診察時間＝午前九時ヨリ午後五時マデ
北大醫學士
リンス市
電話　一四三
郵函　二〇三

寶臣衛

アラサツーバ市
郵函　二〇八

齒科醫

尋人廣告

左記ノ者ノ現住所承知致度ニ付同人又ハ御存知ノ向ハ當館迄御一報相煩度

記

大分縣　田身延
同　永田重太郎
沖繩縣國頭郡伊江村　浦崎英
三重縣津市大字岩田縮內　辻貞雄
長野縣下敷郡久田村　中山享
福岡縣三猪郡　駒田大藏
同　成島幾太郎
同　宮城縣仙台市　下川貞吉
鹿兒島縣合良郡　牛澤ふく
（本籍不明）　中尾太助
山崎益一

昭和十三年八月廿四日
在サンパウロ　帝國總領事館

尋人廣告

本籍地　熊本縣球磨郡須惠村　西唯雄
舊住所伯國サンパウロ州ノロエステ線
プロミツソン驛
右ノ者特別ノ要件有之ニ付至當館迄出頭相成樣致度尙同人御存知ノ向ハ當館宛御一報相煩度

昭和十三年八月廿四日
在『サンパウロ』
帝國總領事館

Redacção e Administração
Rua Pires da Motta, 381 S. Paulo
Tel. 7-1614 Caixa Postal 1243

NAMBEI SHIMPO

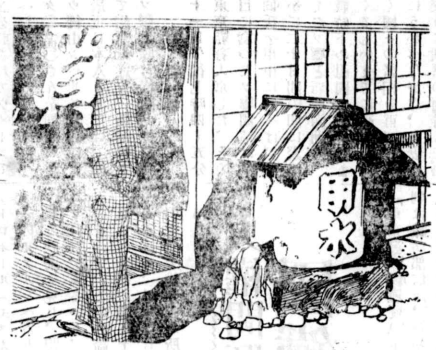
Director J. V. França　　Proprietario Paulo Iquenaga

S. Paulo, 1 de SETEMBRO de 1938

悟道堂圓玉（作）
丸尾至陽（畫）

六三　この面で五兩

青木に岡田は山谷堀の船宿山崎屋で藝妓を三人あつめての豪遊、猪口で金を掬ひ、一杯づゝ、與へた、たゞ持つて來た金とて思ひ切つて使ふ藝妓は大喜び、こゝの女將や女中共にも猪口に一杯づゝの金を祝儀としてあたへたが福の神が舞ひ込んだと大事にする、なほこの當時花川戸に居つた彼のおはなを呼びよせ夜のあけるまで酒にしたしみ遊んでゐたが、雨もやみ朝日は二階の窓に映じて好天氣を知らせる、こゝで酒宴を止め駕に打乘り青木は岡田と共に根岸の別荘に引き取つたが、部下の者を呼びあつめてこの金を分配してなほまた外國人を討拂ひ、必要品即ち武器を買入れることにした、青木の部下には浪人者の他に旗本の次男三男又無賴漢なぞも居る、このうちで神田の八百松といふものがもつとも名が知れてゐた、これは明治七八年まで生存して居たが入獄したことがおよそ廿三度、その罪狀は賭博犯と喧嘩、他に金を强請つたことも有るが窃盜や强盜はしない、後に改心して下野の庚申山を開き神道の行者になり自分が若い頃の懺悔談をして人々を教訓したが、これは神田の豐島町に住んでゐて八百松といつては江戸時代を經た古老は知つてゐる無法者この八百松が青木に知られたに就てはこゝに趣味のある逸話がある、神田の水屋敷で遊んでゐた時に賭博で負て一文無しになり、金算段をしやうとそこを飛び出して三河町の佐野屋といふ質屋に來た、この時は八百松が廿四の時であつたさうだ折しも極寒の十二月温袍一貫二重廻りの白木の三尺を締め甚だ粗末の服裝



松『オイ番頭さん、小遣ひを借りに來たぜ』

といつた、佐野屋の番頭は帳場格子を前にして帳簿を調べてゐたが

番『これはお出でなさいまし、さぞお忙しうござんせう』

松『別に忙がしいこともねえや、番頭さん五兩ばかり貸してくんね、小遣ひと賭け資本にするんだ』

番『へエ、何ういふ品物を御持參になりましたか、品物を拜見いたしませう』

松『品物か、品物はこんなンだがこれで五兩貸してくんね』

眞鍮の獅咬み火鉢の上にズイと顔を出した

番『へエーどんな品物でございますかナ』

松『これだがなア、これで貸してくんねえ』

頬をピタリとたゝいて

松『この面で貸してくんねえ』

番頭はそれを聞いてアハハと笑ひ禿げた頭をツルリと撫で

番『エヘヘ……松さんはとぼけ者でございますね』

松『オイ何をいふんだ、この忙しい中に俺は冗談をいふつもりでこゝには來ねえよ、金を借りに來たンだ』

番『へエ、わたし共は質屋でございまして、品物をお預り申してお金をお貸し申します』

松『それだからよ、俺の面で貸してくれといつてゐるぢやねえか』

番『それは困りますナアあなたの顔は取り外しにはなりません、して見ればその顔を藏へしまつて置くこともなりますまい、何ぞ他の品物を持つて來て頂きたいものでございます』

松『品物かある位ならば面で貸してくれとは云はねえよ、品物がねえから面を持ち込んで來たんだ、八百松といふごろつきの面で貸してくんね、一夜明けて松がとれるまでには利を付けて持つて來るぜ』

番『左樣でもございませうが、あなたの顔でお貸しは困りますこゝろで流されて下さい、寶れば一貫か二貫にしかならぬがこれは俺の身に取つては大切なものだ、どうぞこれで貸してくれとね、すればつまらぬ品物でも御望み通り五兩つけませう』

八百松はこれを聞いて

松『よし判つた、お前のいふことに無理はねえ！』

【愛讀者の投稿歡迎、本紙年極愛讀者以外の投稿は採用致しませんから紙上の匿名は自由なるも必ず住所氏名を編輯部迄内報される事、原稿の取捨は凡て係に一任、又原稿返却の求めには應じません余り長文に亘るものは御面を蒙ります】

義憤？公憤？
何んでも持つて來い！
讀者論壇

皇軍慰問袋明暗二相

A・S生

去月十六日當カンピーナス在住同胞は擧つて皇軍慰問袋を作り、約三百五十宗個に赤誠を籠めて發送した、當地には何んら團體機關なきにも拘らず有志が報國の赤心に燃え熱心に東奔西走して勸說し、又物の響きに應ずるが如く能く時局を認識した在住者一般の眞心の結晶で近來に無き美事として賞するに足る事であつた殊に當地に於ける外人が三人まやその擧に共鳴して參加したのは特筆すべきことで、即ち一人はロシア人で叮嚀な手紙まで添へて送つた、我々は意外な斯うした外人の志に感激してゐるものである、然るに茲に當地在住者の中、シャバドン耕地にシヤカラを營んでゐる三名の似而非なる日本人（特に姓名は公表せず）が有つた、彼等の中には『こんな事を俺に相談もせず若い者らが勝手な事をする』と云つて憤慨し遂に『金が大切』と云つた根性でこの慰問袋寄贈に參加しなかつたが、何たる國民であらう、赤の他人然も國境で銃火を交へてゐるロシア人でさへ斯の如く慰問の誠を表はして居るのに何んたる頑迷なおやぢであらう、我が同胞が三名拔けて外人が三名參加したのは實に悲しい皮肉である、日本人として恥かしい事である、茲に公憤制體を顧みず我慢して居りますが、精神の向上を伴はない體育が何になりませうぞ、私達の村の子供を最初から見て居りますと、野球で人間が幾分でも向上したと云ふ事實がありません、むしろ人間がガサツになり落ち着きがなくなりました、この事實を體驗した私は先般來家の男坊二人に野球から手を退かせて劍道に轉向させました、まだ轉向してから日數がたちませんからその肉體と精神上に及ぼす影響については、まだ何んとも言へませんが必ず日本人の子として野球よりも良い結果を見せて呉れること、今から樂しみにしてゐます

週刊南米に連載中の荒木大將閣下のお話中『紳士の國として歐洲人が余り快しとしない風習が、米國を通じ日本に入つて來た、其善惡は別として野球の如きは其の一つの現れで、日米以上に野球は殆んど見ないと云つてもよい狀態である』とありましたのには本富に來た時に言ひました。

『それでは何うすればいゝ、お前は漁師でなくたつて、木こりだつて百姓だつてなれる筈だ、どうかわしの心願い身にもなつて考へて見てくれ』

さう云はれると、同情心の深い安吉さんは

『それぢや、百姓にでもなりませうかナ』

と、返事をしてしまひました。

『承知してくれるか、有難う——それぢアわしはお前に一つの仕合せを授けて上げやう、舟を捨て、其の岩上は鼠の肉の中に、人間の同上は牛、ブタ等の肉の中に云ふ風に、凝つと潜入して時の來るのゞ待つて居る或る寄生虫になると同一のものでも、地方に依り異種の中間宿主を選擇する其の目的は只管種の存續に適應せんがためであるが、此の本能と云ふ文字を使用する事すら遠慮せねばならぬ樣な、愚鈍な虫が、中間宿主の選擇にかけてそんな周密な注意を有して居ると云ふ事は、自然觀察の上から云つて萬だ面白い事に屬するが、果して如何なる機構に

自然界に於ける萬物相關の理（五）

（一疋の虫も一粒の種子もすべて獨自である事は出來ない）

○——○

◇例へばさなだ虫の例である、彼は人間の腸管の中にうね〳〵と浮んで折角消化して、吸收されやうとしてゐる食物を盛んに失敬するそして人間が服藥其の他の方法で對抗策を講ずるまで外敵に襲はれる恐れもなければ食物に不自由を感することもないから之より以上の樂な生活は先づない。

◇彼等は生活するに殆ど微量の酸素しか必要としないそして不思議な抗體を所有して居り、寄主の腸管の中で消化されてしまふ事は絶對にない、頭の上に吸盤又は鈎を有して腸管の一部に固着して居るので、樂々と受精で、時に八百萬個も產卵すると云ふ有樣であるから、只管驚くの外はないが幸ひな事には——寄主に取り——彼等には特有な中間宿主があり、當然それを經て寄主の體内に入らなければ完全な發育を示すことがないから先づ樂しか安心が出來る。

○——○

◇犬には通常五十種以上の寄生虫があると云はれて居るが、人間やブタになると其種類が犬よりも多い、一般に雜食する動物の方が靠一な食物ばかり攝取して居るものより寄生虫の種類を澤山持つて居るであらうと云ふ事は素人にも想像がつくし、實際に其通りである而も雜食が出來ると云ふ事も、生存競爭場裡に於ける一つの甚だ有利な條件になつて居るのだから其所にも一つの皮肉があるとせなければならない。

○——○

◇一つの奇妙虫が中間宿主を要する場合は、其中間宿主は普通に成虫の寄生すべき動物から喰はれ易いものである事は言を俟たない、だから犬のさなだ虫の幼虫は兎の肉の中に、ネコの同港に錨を下した船の樣なものである。

○——○

◇彼等には固より腦がないその神經系は非常に下級なものであり、何等の感覺器管もないから、暗黑な腹の中で只流れて來る食物を吸收して、安全無憂な生活を送るのみである、彼等には口と云ふものがない、消化管も不要であるから持つて居る筈がない、榮養は體の全表面から吸收するのである、そして動物界では萬だ稀な現象となつて居る自家受精で、時に八百萬個も產卵すると云ふ有樣であるから、只管驚くの外はないが幸ひな事には——寄主に取り——彼等には特有な中間宿主があり、當然それを經て寄主の體内に入らなければ完全な發育を示すことがないから先づ樂しか安心が出來る。

○——○

◇犬には通常五十種以上の寄生虫があると云はれて居るが、人間やブタになると其種類が犬よりも多い、一般に雜食する動物の方が靠一な食物ばかり攝取して居るものより寄生虫の種類を

童話　半分のおむすび

一

きつと此處の岩かげならおさかなが釣れるに違ひないと思つて、ずゐぶんきつい目にあつて遠く舟をこいで來たのですが、どうしたのかさつぱり釣れません。

漁師の安吉さんは、すつかりらくたんしてしまひました。

『せめて一匹でも釣れりアいゝ、がなア』

と願ひながら釣竿を垂れて居ました、所が何うしたのか、うと〳〵と眠たくなつてしまひました、しばらくすると

『安吉、これ安吉』

と、誰かゞ呼ぶものですから顔を上げて見ると、波間にはマツ白な髯を垂らした見るからに神々しいお方が立つて居られました。

『安吉、わしはお前に一つお願ひがあるんぢやが』

『へエ』

『聞いてくれるか』

『どんなことでございませう』

『他ちやない、何をかくさう、わしは龍神なのだが、お前に毎日々々釣られるので、わしの家來のさかなは段々減つてしまふ、おとよひは、家來の中で一番智惠者の大鯛を、そして昨日は身の厚い大ひらめを釣り上げたにちう、あのひらめには五匹の子があつて、それが母親を尋ねて、今でも泣き通しなのぢや』

『それでは何うすればいゝのでせう』

『だからお前は漁師をやめてはくれまいか』

『……』

安吉さんは困つてしまひました、若し自分が漁師をやめたなら、三人の子供と妻とをどうして養つて行けやう——それでジツと考へ込んでしまひました。

『安吉よく考へて見ゞがいい、お前は漁師でなくたつて、木こりだつて百姓だつてなれる筈だ、どうかわしの心願い身にもなつて考へて見てくれ』

さう云はれると、同情心の深い安吉さんは

『それぢや、百姓にでもなりませうかナ』

と、返事をしてしまひました。

『承知してくれるか、有難う——それぢアわしはお前に一つの仕合せを授けて上げやう、舟を捨て、其の岩上は鼠の肉の中に、人間の同上は牛、ブタ等の肉の中に云ふ風に、凝つと潜入して時の來るのゞ待つて居る或る寄生虫になると同一のものでも、地方に依り異種の中間宿主を選擇する其の目的は只管種の存續に適應せんがためであるが、此の本能と云ふ文字を使用する事すら遠慮せねばならぬ樣な、愚鈍な虫が、中間宿主の選擇にかけてそんな周密な注意を有して居ると云ふ事は、自然觀察の上から云つて萬だ面白い事に屬するが、果して如何なる機構に

子供の野球熱に就て

マリリヤ郊外　武骨者稿

週刊南米の社說第二世の間に柔劍道を奬勵せよには大に共鳴しました、日本語教育の不自由をこの方面の奬勵で埋め合せると云ふ說は確かに良いこと、思ひます現在富地方には新聞屋がその營業政策か、或は日本の大朝あたりの猿マネか、何んだか解りませんが少年の野球熱を鳴物入りで、おだてるので子供はい、氣になつて勉强も家事の手傳ひも打ち棄て、暇さへあらばアメリカ語の片言を使ひボール遊びばかりをして居ります尤も之れが體育上爲めになることは知つてゐますが、精神の向上を伴はない體育が何になりませうぞ、私達の村の子供を最初から見て居りますと、野球で人間が幾分でも向上したと云ふ事實がありません、むしろ人間がガサツになり落ち着きがなくなりました、この事實を體驗した私は先般來家の男坊二人に野球から手を退かせて劍道に轉向させました、まだ轉向してから日數がたちませんからその肉體と精神上に及ぼす影響については、まだ何んとも言へませんが必ず日本人の子として野球よりも良い結果を見せて呉れること、今から樂しみにしてゐます

週刊南米に連載中の荒木大將閣下のお話中『紳士の國として歐洲人が余り快しとしない風習が、米國を通じ日本に入つて來た、其善惡は別として野球の如きは其の一つの現れで、日米以上に野球は殆んど見ないと云つてもよい狀態である』とありましたのには本富に來た時に言ひました。

『それでは何うすればいゝ、お前は漁師でなくたつて、木こりだつて百姓だつてなれる筈だ、どうかわしの心願い身にもなつて考へて見てくれ』

さう云はれると、同情心の深い安吉さんは

『それぢや、百姓にでもなりませうかナ』

と、返事をしてしまひました。

『承知してくれるか、有難う——それぢアわしはお前に一つの仕合せを授けて上げやう、舟を捨て、其の岩上は鼠の肉の中に、人間の同上は牛、ブタ等の肉の中に云ふ風に、凝つと潜入して時の來るのゞ待つて居る或る寄生虫になると同一のものでも、地方に依り異種の中間宿主を選擇する其の目的は只管種の存續に適應せんがためであるが、此の本能と云ふ文字を使用する事すら遠慮せねばならぬ樣な、愚鈍な虫が、中間宿主の選擇にかけてそんな周密な注意を有して居ると云ふ事は、自然觀察の上から云つて萬だ面白い事に屬するが、果して如何なる機構に

四つ這姿

○

動物には大變妙な癖があるやうです、例へば犬が吼ゑついて來た時、急に四つ這ひになつて見せるとか、牛から追つかけられた時逆立ちして見せると實際文字通りに尾を卷いて逃げると申します、アフリカで水牛に襲はれた人は長い竹の棒を振り廻すことを忘れない水泳家が不必要に長い褌を締めるのはフカなどかと襲はれた場合、ほどいて流さんがためである。

○

一外國婦人は街に逸出した獅子と出會し、氣が轉倒して思はず所持のグアルダシュウバを擴げたゞけで不慮の難を逃れることが出來たと傳へられます、獅子が驚いて逃げ出したのである動物には判斷がない、だから急に物の形が變ると驚くより外に爲す術を知らない

○

定めしバカだなあと思ふであらう、然しバカと思ふためには自分は『せぬ』とこゝ〳〵した龍神の姿はパッと海の中に消えてしまひました。

其時安吉さんは、フイと目がさめたのです。

『おお……それでは今のは夢だつたのか』

二

安吉さんは、おむすびの入つた包みを腰にぶらさげると、舟や釣竿をそのまゝにして、龍神に云はれた通り其處の岩角から上り始めました。

ハア〳〵と息を切らしながらやつと上の小道に來ました、そこはけはしい山道で、安吉さんの村はすつと遠くの方にかすかに見えて居ました。

『ヤレ〳〵』

安吉さんは一體どんな幸福が授かるのだらうかと、樂しく思ひながら、自分の村の方へと足を向けてすゝんで行きました。

しかし何も別段變つたことは起りませんでした。

そのうちにもうお正午も近くなつて、おなかゞすいて來たので、安吉さんは、其處にあつた石に腰をかけて、腰の包みを取り出し、今しもおむすびを食べやうとした時でした。

『ウーン、ウーン』

と、うめき聲が聞えて來ます。

『何かしら？』

安吉さんは、むすびを置いて見廻しますと、つい五六間ばかり離れた草むらの中に、一人の男がたふれてゐるのです。

『どうしましたか』

安吉さんは、急いでかけよつて抱き起しました。

『わしは道に迷つて、二日も御飯を食べないでゐるので、おなかゞすいて目がくらみさうなのです』

と、その人は云ひました

『お、そんならこれを半分上げませう』

と安吉さんは、おむすびを半分わけして、梅干の入つた大きい方を、たふれて居た人に出しました、男は大そうよろこんじ

『有難ふ、有難ふ、極樂の百味のおんじきもこれ程のうまさではあるまい』

と云ひながら、またゝく間に食べてしまひました。

『あゝ、やつと助かつた、これでどうやら歩けるやうになつた』

男は立上ると、一しよにふもとの方におりて來ました、そして

『きつと近い中にお禮しませう、あなたの家と名前とを敎へて下さい』

と、その人は別かれ道に來た時に言ひました。

三

安吉さんは百姓になりました、しかし馴れないのでするぶんくたびれる割合には、お金がもうかりません

『困つたことだなア』

とため息の出るやうな日が幾日か續きました、ところが或日のこと安吉さんの家に、殿樣のお使ひが來て

『すぐにお城に來るやうに』

と言ひました、安吉さんは

『一體どうしたことだらう』

とふしんに思ひながら、着物を着かへて御殿に上りました。『ハツ』

安吉さんは、あたりのいかめしさにおされて、躰がガタ〳〵ふるへてひれ伏しました、殿樣のお顏やお聲は、どこかでお見受けしたやうな氣もするのですが、思ひ出されません。

『安吉忘れたか、わしはあの山の中で、お前に半分のおむすびを貰つて、命びろひしたものぢや』

『おお——』

さう云はれゝば、お姿こそ立派にして居られますがまさしくあの時の人に違ひありません。

殿樣は、人民達がどんなにして暮らしてゐるか、しらべるためにたつたお一人で旅人の姿をして、見まはりに出られたのですが、あの時は道に迷つておなかゞすいてゐたのだゝ言ふことをお話になりました。

『これおむすびをもて』

と、殿樣は家來にお命じになると、丁度安吉さんがあの時持つてゐた位の大きさのおむすびを持つて參りました、すると殿樣は御自分からそれを半分に分けられ、大きい方を出して

『この飯粒を勘定せい』

と仰せられました、五人の家來は一、二、三と數を讀みはじめました。

『皆で二千五百六十粒もございます』

『よしさうか、それならば小判を二千五百六十枚持つて來い、安吉、あの時の一粒の飯粒は全くわしにとつては小判一枚のねうちがあつたのぢや、だからおむすび半分の飯粒の數だけ、小判で返さうと思ふ』

と申され、ピカ〳〵光る小判を山の樣に積みあげられました。

安吉さんは、あんまり嬉しくて、もしや夢ではないかと、何度も何度も自分の身をツメつてゐました。

明治維新に際して薩長土肥の徒が悉く四つ這ひの姿を江戸人の前に現はしたお膝下で吼えた、蹴つた、江戸人共驚くまいことか忽ち尾を卷いて了つたのである、只それだけだ、とかう云ふ譯である、場所、時、事情を異にすれば此の理論は何れにも應用が出來る、洗へば他愛もない話だ。

カーザ東山
ノロエステ總代理店
間崎　三三一
プロミツソン郵函一六番
電話五〇番

呼寄、法律相談
被呼寄人提示金償還
專賣特許、商標登錄
右諸手續確實迅速ニ取扱フ
明穗事務所
（海興直グ上）
Rua Felipe de Oliveira 21
4and. Sala 18
Telef. 2-3444 C. P. 970
S. Paulo

同仁會地方醫局
醫學士　内田利藤次
プ、ブルデンテ市

◇……いつでも、甘味しく
◇……御ゆつくり召上れる
白石食堂
アラサツーバ市

薄利　多賣
品質　本位
◇味美しくて　割の利くお醬油
黑島印醬油
製造人　黑島伊平治
北西線プロミツソン驛前

FABRICA DE RITSUO MORISIN
絹張日傘
優美にして安價
夫律進守
CAIXA POSTAL 2411
聖市　三五街ダスサルゼーダ　コンデ　市